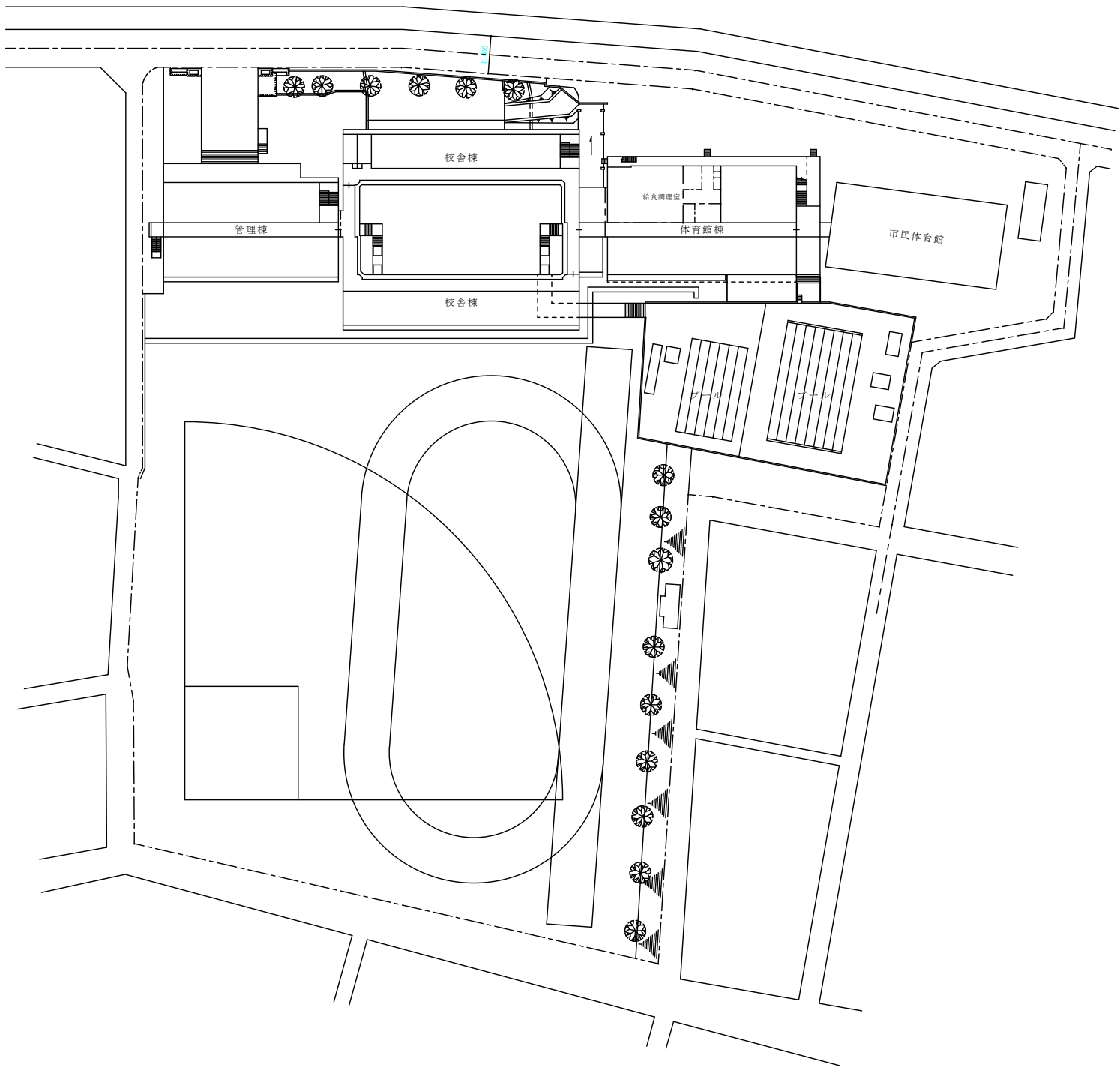


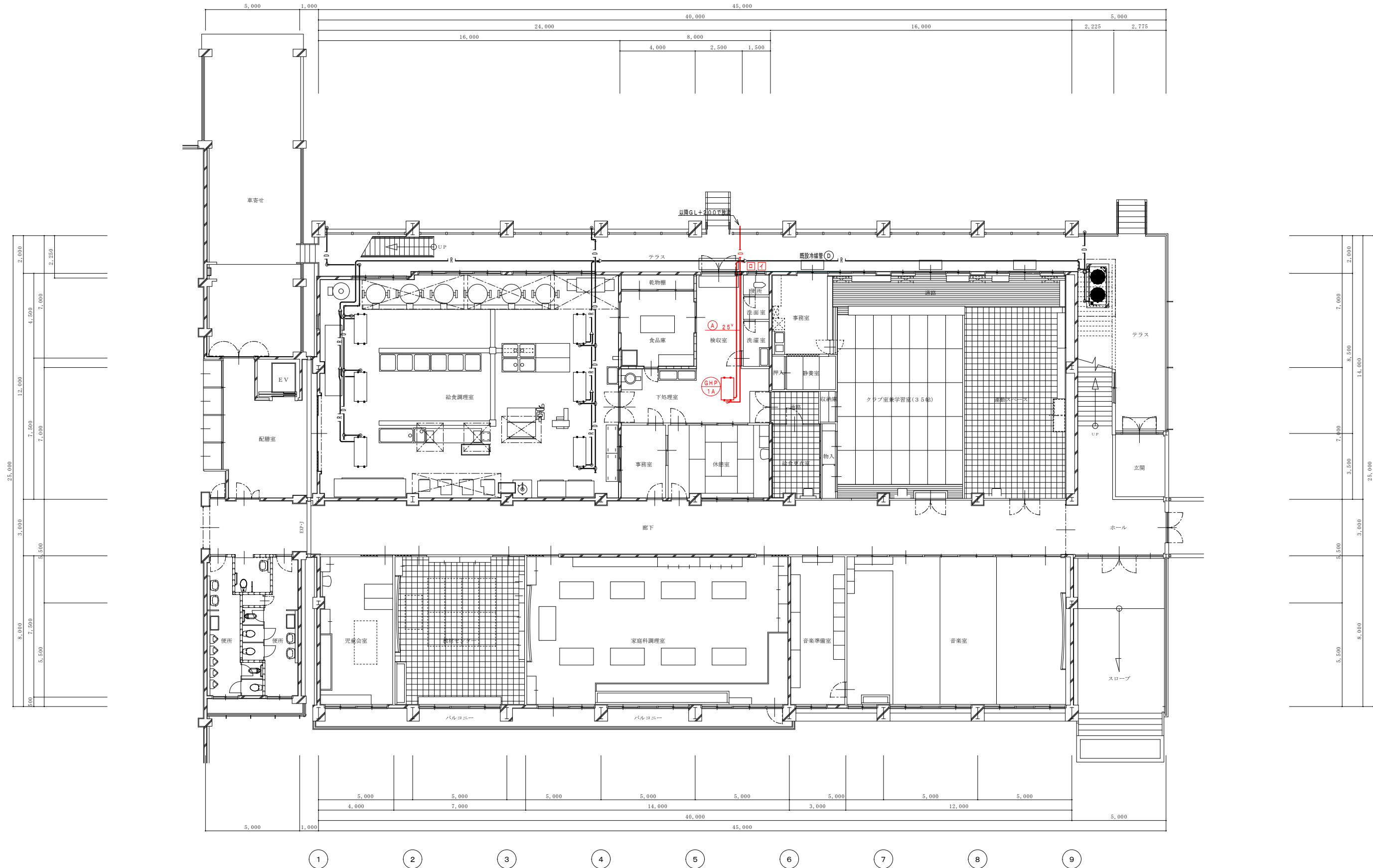
[illegible]



配置図 S=1:1200

機	器	表
---	---	---

[illegible]



冷媒管リスト			
記号	名称	液管	ガス管
(A)	冷媒用被覆銅管	9.5φ	15.9φ
(B)	"	9.5φ	22.2φ
(C)	"	12.7φ	28.6φ
(D)	"	19.1φ	31.8φ

機械はつり補修リスト			
記号	区分	口径	コンクリート厚 数量
[I]	壁	75φ	200mm 1
[II]	壁	125φ	200mm 1

1階平面図 S=1:200

- 注)
- 冷媒配管のサイズ記号は冷媒配管リスト表を参照とする。
 - ドレン配管は排水配管に準ずる保温仕様とする。
 - 図中 表示部ははつり補修箇所を示す。(数量は機械はつり補修リスト参照のこと。)

6学工第4号 小出学校給食センター エアコン設置工事 設計図			令和 6年 5月 (金 3校)						
工 事 場 所 新潟県魚沼市 佐製 地内									
建 物 概 要									
建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防令別表第一	備 考				
小 出 小 学 校	R0+S造	2階	192.0 (調理室)	7項					
仕 様 書									
I. 共 通 仕 様									
1 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、次による。 新築及び増築に係る電気設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)」 (以下「標仕」という。) 及び「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 環境課監修 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編)」 (以下「標準図」という。) による。 改修に係る電気設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) 令和4年版」 (以下「改修標仕」という。) 及び標準図による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は、標仕による。 2 標仕及び改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。 (1) 「工事請負契約書」を「魚沼市財務規則 平成16年11月1日 規則第49号 別記 (167条関係) 建設工事請負基準約款」 (以下「約款」という。) に読み替える。 (2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。									
章	項目	特記事項	根拠項目	章	項目	特記事項	根拠項目		
① 一 般 事 項	⑥ 発生材の処理等	<表－5>「発生材の処理等」のとおり。	(1-1. 3. 9)	7 雷 保 護 設 備	1 受雷部	・ 突針 ・ メッシュ導体 ・ 笠木、手すり等	(2-2. 17. 1)		
	⑦ 完成図等	下記のものを作成し提出する。なお、作成方法・部数等は監督員の指示による。 完成図・施工図、C A Dデータ 保全に関する資料	(1-1. 9. 1)		2 避雷導線	・ 引下げ導線 ・ 建築構体利用	[2-2. 19. 1]		
	⑧ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 工事完成後、整理のうえ監督員に提出する。 提出部数 2 部	(1-1. 7. 2)		3 接地極	・ 構造体利用 ・ 環状接地 ・ 板状接地 ・ 鋼状接地 ・ 垂直接地線 ・ 放射状水平接地極			
	⑨ 工事完成写真	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 工事写真の撮り方 建築設備編 改訂第3版」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。	(1-1. 11. 2)		4 外部雷保護	・ レベルⅠ ・ レベルⅡ ・ レベルⅢ ・ レベルⅣ			
	⑩ 工事施工状況写真	提出部数 1 部 <表－6> 工事区分表による。	(1-1. 7. 3)		5 内部雷保護システム	・ あり ・ なし			
	② 共 通 工 事 等	1 足場・さん機等	※ 別契約で関係受注者が定置した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。		(1-2. 1. 1)	8 受 電 装 置 備	1 電気方式	・ 3相3線式 ・ 6 K V	(3-1. 1. 1)
		2 仮設間仕切り	※ 別途工事 ・ 本工事		[1-2. 2. 2]		2 区分開閉器	種類 ・ 気中 ・ ガス ・ 方向性 無方向性 地絡継電器 ・ キュービクル形 ・ 高圧X付け7 ・ C B形 (・ 真空 ・ P F S形 ・ 電動ばね ・ 手動ばね ・ 電磁	(3-2. 3. 3)
		3 監督員事務所等	※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する ・ 保安帽 ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組		[1-2. 2. 7]		3 盤形式	・ キュービクル形 ・ 高圧X付け7 ・ 開路形	[3-1. 1. 1]
		④ 工事用水	※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する ・ 保安帽 ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組		[1-2. 2. 7]		4 主遮断装置	・ C B形 (・ 真空 ・ P F S形 ・ 電動ばね ・ 手動ばね ・ 電磁	[3-2. 4. 3]
		⑤ 工事用電力	※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する ・ 保安帽 ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組		[1-2. 2. 7]		5 操作方式	・ C B形 (・ 真空 ・ P F S形 ・ 電動ばね ・ 手動ばね ・ 電磁	
6 仮設建物等		※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する ・ 保安帽 ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組	[1-2. 2. 7]	6 変圧器	・ 油入 ・ モールド ・ 高効率形				
7 残土処理		※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する ・ 保安帽 ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組	[1-2. 2. 7]	7 高圧コンデンサ	・ 油入 ・ ガス絶縁 ・ モールド				
8 耐震施工		※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する ・ 保安帽 ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組	[1-2. 2. 7]	8 リアクトル	・ 油入 ・ モールド				
9 塗装工事		※ 別契約で関係受注者が定置した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。	[1-2. 2. 2]	9 避雷器	・ 2.5kA ・ 5kA ・ 10kA ・ SPD等				
10 フラッシュプレート		※ 別契約で関係受注者が定置した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。	[1-2. 2. 2]	10 絶縁監視装置	・ あり ・ なし				
③ 構 内 配 電 線 路	1 電気方式	・ 高圧 3相3線式6 K V ・ 低圧 単相 線式 (V) ※ 地中線式 (※ 管路式 ・ 直埋式) ・ 架空式	(2-2. 11. 1)	9 静 止 形 電 源 設 備	1 直流電源装置	用途 ・ 非常用照明器具電源及び受変電設備制御電源共用 ・ 受変電設備制御電源専用	(4-1. 1. 1)		
	2 配線方式	※ 設ける。 ・ 高圧 G Lー m ・ 低圧 G Lー m	(2-2. 12. 6)		蓄電池	・ H S形鉛蓄電池 ・ M S E形鉛蓄電池 ・ 長寿命M S E形鉛蓄電池	(4-3. 3. 2)		
	3 ケーブル埋設シート	※ 設ける。 ・ 高圧 G Lー m ・ 低圧 G Lー m	[2-2. 13. 1]		整流器容量 (A)	・ 負荷補償装置 (A)	[4-1. 1. 1]		
	4 埋設深	※ 設ける。 ・ 高圧 G Lー m ・ 低圧 G Lー m	[2-2. 14. 6]		出力電圧 (V)	・ 単相 2線式 ・ 単相 3線式 ・ 3相 3線式	[4-2. 4. 2]		
	5 メッセンジャー線	※ 設ける。 ・ 高圧 G Lー m ・ 低圧 G Lー m	[2-2. 14. 6]		定格出力 (K V A)	・ 1 0 0 V ・ 1 0 0 V / 2 0 0 V ・ 2 0 0 V			
	6 装仕機材	※ 設ける。 ・ 高圧 G Lー m ・ 低圧 G Lー m	[2-2. 14. 6]		補償時間 (分以上)	・ 常時インバー ・ ラインチャイフ ・ 常時商用給電			
	7 外灯接地	※ 設ける。 ・ 高圧 G Lー m ・ 低圧 G Lー m	[2-2. 14. 6]		給電方式	・ 常時インバー ・ ラインチャイフ ・ 常時商用給電			
	8 M H H 内支持材接地	※ 設ける。 ・ 高圧 G Lー m ・ 低圧 G Lー m	[2-2. 14. 6]		2 UPS装置	用途 ・ 非常用照明器具電源及び受変電設備制御電源共用 ・ 受変電設備制御電源専用			
	9 接地極埋設の省略	※ 設ける。 ・ 高圧 G Lー m ・ 低圧 G Lー m	[2-2. 14. 6]		1 形式	・ キュービクル式 ・ 閉鎖式 ・ オープン式	(5-1. 1. 1)		
	④ 接 地	1 種別	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 避雷器用		(2-2. 13. 1)	1 0 発 電 機 備	2 用途	・ 防災電源 ・	(5-1. 4. 13)
2 施工方法		・ 一括 ・ 単独 ・ メッシュ	[2-2. 15. 1]	3 発電機	電気方式 ・ 3相3線式 ・ 単相2線式 ・ 単相3線式 電圧 ・ 100V ・ 200V ・ 200V/100V ・ 周波数 ・ 50Hz ・ 60Hz 回転数 ・ 1500min ⁻¹ ・ 3000min ⁻¹ ・ 定格出力 (k W以上 k V A以上) 種類 ・ ディーゼル機関 ・ ガス機関 ・ ガスタービン ・ マイクロガスタービン 定格出力 (k W以上) 始動方式 ・ 電気方式 ・ 空気式 冷却方式 ・ 水循環式 ・ ラジエータ式 始動時間 ※ 4 0秒以内 ・ 1 0秒以内 始動用蓄電池 ・ 長寿命M S E (A h) ・ ・ 軽油 ・ A重油 ・ 灯油 ・ 自動式 ・ 手動式 (L) (L) ・ 専用 ・ 共用 排気管の断熱材 (※ 70℃ ・ 厚さ mm ・ あり ・ なし		[5-1. 1. 1]		
3 接地極		・ 一括 ・ 単独 ・ メッシュ	[2-2. 15. 1]	4 原動機	電気方式 ・ 3相3線式 ・ 単相2線式 ・ 単相3線式 電圧 ・ 100V ・ 200V ・ 200V/100V ・ 周波数 ・ 50Hz ・ 60Hz 回転数 ・ 1500min ⁻¹ ・ 3000min ⁻¹ ・ 定格出力 (k W以上 k V A以上) 種類 ・ ディーゼル機関 ・ ガス機関 ・ ガスタービン ・ マイクロガスタービン 定格出力 (k W以上) 始動方式 ・ 電気方式 ・ 空気式 冷却方式 ・ 水循環式 ・ ラジエータ式 始動時間 ※ 4 0秒以内 ・ 1 0秒以内 始動用蓄電池 ・ 長寿命M S E (A h) ・ ・ 軽油 ・ A重油 ・ 灯油 ・ 自動式 ・ 手動式 (L) (L) ・ 専用 ・ 共用 排気管の断熱材 (※ 70℃ ・ 厚さ mm ・ あり ・ なし		[5-2. 2. 10]		
⑤ 電気方式		幹線 ・ 単相 3線式 2 0 0 V / 1 0 0 V ・ 直流 2線式 1 0 0 V 分岐 ・ 単相 2線式 (・ 1 0 0 V ・ 2 0 0 V) ・ 直流 2線式 1 0 0 V 定格遮断電流は、最小のもので対称値 (A) 以上とする。	(2-2. 14. 1)	5 燃料	・ 軽油 ・ A重油 ・ 灯油 ・ 自動式 ・ 手動式 (L) (L) ・ 専用 ・ 共用 排気管の断熱材 (※ 70℃ ・ 厚さ mm ・ あり ・ なし		[5-1. 6. 1]		
⑥ 非常用照明電源		・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	6 制御方式	・ 自動式 ・ 手動式 (L) (L) ・ 専用 ・ 共用 排気管の断熱材 (※ 70℃ ・ 厚さ mm ・ あり ・ なし		[5-2. 4. 1]		
⑦ フロアコンセント		・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	7 燃料小出槽	・ 軽油 ・ A重油 ・ 灯油 ・ 自動式 ・ 手動式 (L) (L) ・ 専用 ・ 共用 排気管の断熱材 (※ 70℃ ・ 厚さ mm ・ あり ・ なし		[5-1. 7. 1]		
⑧ 壁の予備アース		・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	8 主燃料槽	・ 軽油 ・ A重油 ・ 灯油 ・ 自動式 ・ 手動式 (L) (L) ・ 専用 ・ 共用 排気管の断熱材 (※ 70℃ ・ 厚さ mm ・ あり ・ なし		[5-2. 5. 1]		
⑨ 壁の予備アース		・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	9 排気系統配管	・ 軽油 ・ A重油 ・ 灯油 ・ 自動式 ・ 手動式 (L) (L) ・ 専用 ・ 共用 排気管の断熱材 (※ 70℃ ・ 厚さ mm ・ あり ・ なし		[5-2. 5. 1]		
⑩ 壁の予備アース		・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	10 ユニタリ装置	・ 軽油 ・ A重油 ・ 灯油 ・ 自動式 ・ 手動式 (L) (L) ・ 専用 ・ 共用 排気管の断熱材 (※ 70℃ ・ 厚さ mm ・ あり ・ なし		[5-2. 5. 1]		
⑤ 一 般 事 項		① 電気方式	幹線 ・ 単相 3線式 2 0 0 V / 1 0 0 V ・ 直流 2線式 1 0 0 V 分岐 ・ 単相 2線式 (・ 1 0 0 V ・ 2 0 0 V) ・ 直流 2線式 1 0 0 V 定格遮断電流は、最小のもので対称値 (A) 以上とする。	(2-2. 14. 1)	1 1 太 陽 光 発 電		1 太陽光発電	太陽電池 ・ 結晶系シリコン太陽電池 ・ アモルファスシリコン太陽電池 出力 (k W) 系統連系 ・ あり (発電) ・ なし	(5-1. 5. 1)
	② 電動機の接地	・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	2 その他発電設備		・ 結晶系シリコン太陽電池 ・ アモルファスシリコン太陽電池 出力 (k W) 系統連系 ・ あり (発電) ・ なし	[5-2. 4. 1]		
	③ 壁の予備アース	・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	3 埋設深		・ 結晶系シリコン太陽電池 ・ アモルファスシリコン太陽電池 出力 (k W) 系統連系 ・ あり (発電) ・ なし	[5-1. 7. 1]		
	④ 壁の予備アース	・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	4 メッセンジャー線		・ 結晶系シリコン太陽電池 ・ アモルファスシリコン太陽電池 出力 (k W) 系統連系 ・ あり (発電) ・ なし	[5-2. 5. 1]		
	⑤ 壁の予備アース	・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	1 1 太 陽 光 発 電		太陽電池 ・ 結晶系シリコン太陽電池 ・ アモルファスシリコン太陽電池 出力 (k W) 系統連系 ・ あり (発電) ・ なし	[5-1. 5. 1]		
	⑥ 壁の予備アース	・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	2 その他発電設備		・ 結晶系シリコン太陽電池 ・ アモルファスシリコン太陽電池 出力 (k W) 系統連系 ・ あり (発電) ・ なし	[5-2. 4. 1]		
	⑦ 壁の予備アース	・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	3 埋設深		・ 結晶系シリコン太陽電池 ・ アモルファスシリコン太陽電池 出力 (k W) 系統連系 ・ あり (発電) ・ なし	[5-1. 7. 1]		
	⑧ 壁の予備アース	・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	4 メッセンジャー線		・ 結晶系シリコン太陽電池 ・ アモルファスシリコン太陽電池 出力 (k W) 系統連系 ・ あり (発電) ・ なし	[5-2. 5. 1]		
	⑨ 壁の予備アース	・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	1 1 太 陽 光 発 電		太陽電池 ・ 結晶系シリコン太陽電池 ・ アモルファスシリコン太陽電池 出力 (k W) 系統連系 ・ あり (発電) ・ なし	[5-1. 5. 1]		
	⑩ 壁の予備アース	・ 電池内蔵形 ・ 電源別直形 ・ 収納形 ・ 上下動形	[2-2. 16. 1]	2 その他発電設備		・ 結晶系シリコン太陽電池 ・ アモルファスシリコン太陽電池 出力 (k W) 系統連系 ・ あり (発電) ・ なし	[5-2. 4. 1]		
⑥ 一 般 事 項	① 電気方式	幹線 ・ 単相 3線式 2 0 0 V / 1 0 0 V ・ 直流 2線式 1 0 0 V 分岐 ・ 単相 2線式 (・ 1 0 0 V ・ 2 0 0 V) ・ 直流 2線式 1 0 0 V 定格遮断電流は、最小のもので対称値 (A) 以上とする。	(2-2. 14. 1)	1 2 構 内 交 換 設 備	1 交換装置	・ デジタルPBX ・ IP-PBX ・ VoIPサーバ ・ VoIPゲートウェイ ・ ボタン電話装置 ・ 分散中継台方式 ・ デジタル方式			

章	項目	特記事項	根拠項目
②③ 追加特記事項	① 公共事業労務費調査	※ 協力する。	
	② 工事監理方式	共同監理 ・ あり ※ なし ・ 営繕工事電子納品要領(案) (国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕計画課監修)	
	③ 適用基準等	※ 工事運行マニュアル ※ 作成する ・ 作成しない	
	4 総合図		
	5 工事成績評定	受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は工事運行マニュアルによる。)	
⑥	アスベスト含有の建材	アスベスト含有の建材は使用しない。 ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は事前に監督員と協議を行うこと。	
	7 中間技術検査	・ 低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。 検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。	
8	有価物について	当該工事における、有価物については下記の通り取り扱う。 (1) 鉄くず等金属類及び電線等は有価物として処分を行うこと。 (2) 数量はスクラップ業者の計量伝票を根拠とする。 (3) 鉄くず等有価物の売り払い明細書を作成し、内容を明らかにしたうえで市に納入すること。 (4) 納入方法は契約後に市が発行する納付書により入金すること。	

＜表－1＞ 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説 平成8年版」による耐震安全性の分類 ・ 特定の施設（ ・ 甲類 ・ 乙類 ） ・ 一般の施設（ ・ 乙類 ）			
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
		2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
上層階	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
中間階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
地下・1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6

重要機器： ・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・
上層階の定義： 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

＜表－2＞ EM電線の記号および仕様

記 号	仕 様
EM－CEE S	JCS 4258 D(制御用ケーブル(連へい付))準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM－UT P	JIS X 5150により、絶縁材にJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM－MEE S	JIS 3271 A(MVVS)に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM－EB T	EBT（電子ケーブル電話用ケーブル）に準じ、シースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの

＜表－3＞ あと施工アンカー

1 共通事項	(1) 既設のインサート及びアンカーは原則として使用しない。やむを得ず既設のインサート及びアンカーを再利用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。 また、引張強度の確認試験については下記による。 () (2) あと施工アンカーについては機械設備工事標準図（施工19）による。 (3) 穿孔作業には、専用ドリル、振動ドリルやハンマドリル等を使用し、必要埋設深さを確保するため、穿孔深さのドリルへの表示やストップ付きドリルの使用等を行う。
2 重要機器用のあと施工アンカー	(1) 重要機器の耐震固定等に使用するあと施工アンカーは金属拡張アンカー又は接着系アンカーとし、耐震計算にて選定を行う。 (2) 金属拡張アンカーの仕様は、次による。 (7) 金属拡張アンカーは、(社)日本建築あと施工アンカー協会の金属系あと施工アンカー品質性能判定表の性能を満足する製品とする。 (4) 金属拡張アンカーの取り付け方法は、図示による。図示がなければ、本体打込み式とする。 (5) 金属拡張アンカー本体の径及び埋め込み深さは、図示による。 (4) アンカーの種類、径及び長さは図示による。 (3) 接着系アンカーの仕様は、下記による。なお、下記により施工が困難な場合は、監督員と相談すること。 (7) 接着系アンカーは、(社)日本建築あと施工アンカー協会の接着系あと施工アンカー品質性能判定表の性能を満足する製品とする。 (4) 接着系アンカーは、カーブ型とし、接着剤の材質及びカーブの種類は図示による。 (9) 接着系アンカーの埋込深さ及び許容引張荷重については、機械設備工事標準図（施工19）による。 (4) あと施工アンカーの施工には、工事内容に相応した施工の指導を行うあと施工アンカー技術管理士又は主任技士を置く。 (5) あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有する主任技士又は第1・2種あと施工アンカー施工士とする。 (6) あと施工アンカーの撤去は、専用の工具を使用し、構造物に影響を与えないようにすること。

＜表－4＞ 用語の説明

- (1) 「撤去」とは、既存物を壊し取ること。
(2) 「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。
(3) 「撤去・新設」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。
(4) 「取外し・再取付け」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。 [1-1.4.3]
(5) 「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時的な場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。

＜表－5＞ 発生材の処理等

1. 再生資材の利用
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規 格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備 考

2. 建設発生土の利用
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工 事 名	発 生 場 所	施工会社名・連絡先	備 考

3. 建設発生土の搬出
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称		
工事場所／施設所在地		
連絡先		
仮置場所の有無		
備考		

4. 建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名					
処理施設名称					
施設所在地					
連絡先					
備考					

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。
5. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。
7. 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

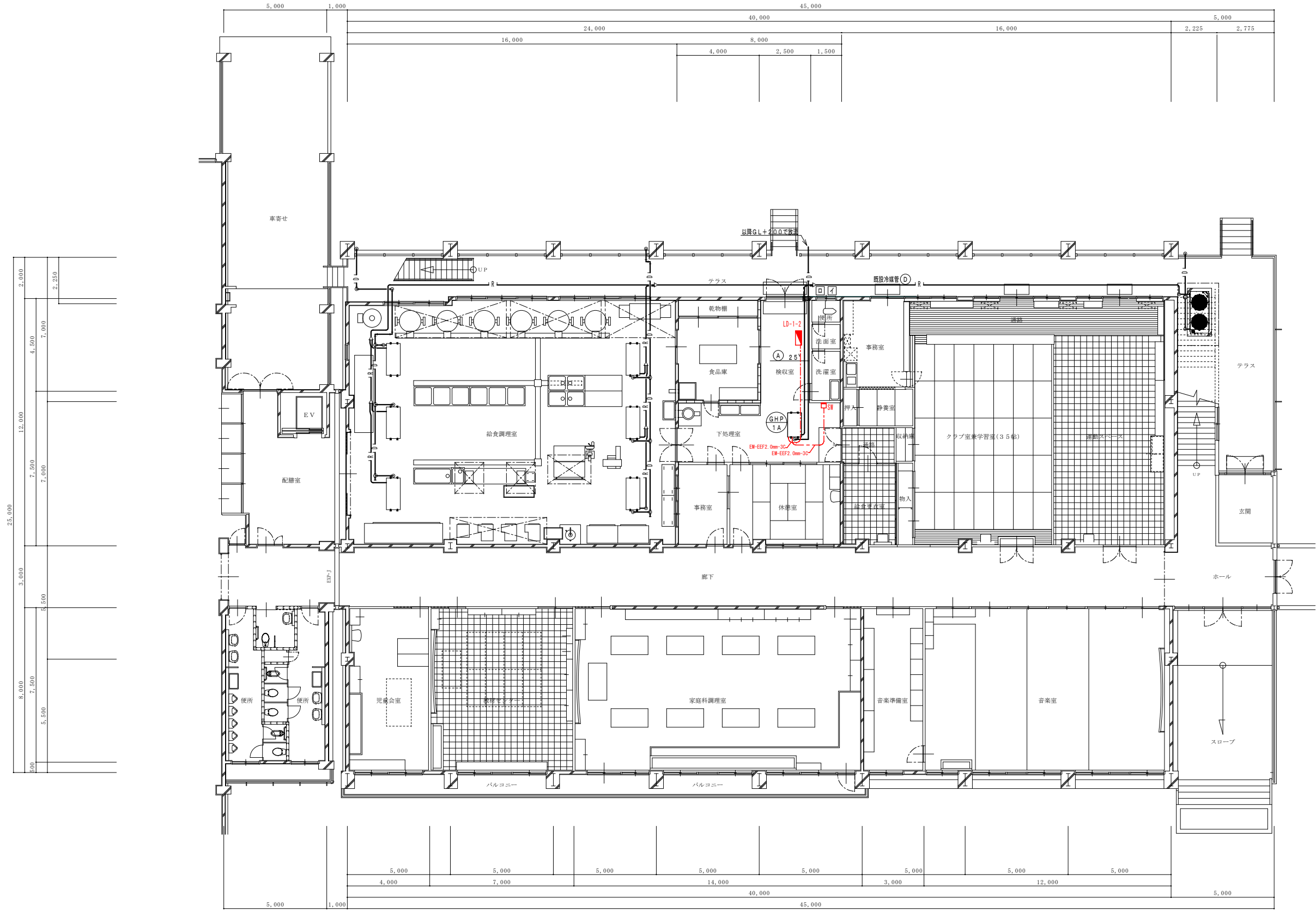
＜表－6＞工事区分表

注) 原則○印を適用する。
ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目		建 電 空 衛 昇				備 考	
躯体関係							
1.RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリット材及び取付け	○	○	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○					
2.S・SRC造・はり貫通口	スリット・型枠の穴埋め	○	○	○	○		
	S・SRC造貫通鋼管スリット・補強	○					
	使用されたスリットの穴埋め	○	○	○	○		
3.設備機器の基礎	予備スリットの穴埋め	○	○	○	○		
	建築設計図に記入のあるもの	○					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○	○		
	屋外・屋上の基礎	○					
	屋上基礎で押さえコンクリートがない軽微なもの		○	○	○		
仕 上 げ 関 係	機器取付け用アンカー・架台		○	○	○		
	屋内受水タンク用の基礎	○					
	経鉄天井・壁下地	補強を用するアンダーの切り込み及び下地の補強	○				
	補強を用しないアンダーの切り込み		○	○			
電 気 関 係	開口部の墨出し		○	○			
	電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）		○	○		二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○					一次側
そ の 他（工事区分を特に間違えやすい項目）	機器と付属操作スイッチの取付け及び液り配管配線		○	○			
	天井材の取外し再取付	各種配管配線作業用	○	△	△	△	小規模は監督員と協議
	床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△	小規模は監督員と協議
流し台、ガス台			○				
	便所手洗いカウンター		○				衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台				○			
誘導標識			○				誘導灯は電気設備
ガス漏れ警報器				○			ガス漏れ火災警報設備は電気設備
24H換気扇連動スイッチ	機器納入				○		
	取付			○			
湯沸器連動スイッチ	機器納入				○		
	取付			○			
上記以外換気扇スイッチ	機器納入、取付		○				

＜表－7＞機器取付高 機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することができる。			
名称		測点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上 - 上端	※ 2, 0 0 0 ●
	引込開閉器	〃	※ 1, 8 0 0 ●
電 灯	分電盤	床上 - 中心	※ 1,500（上端1,900以下）
	タンブラスイッチ（一般）	〃	※ 1, 3 0 0 ●
	〃（身障者用）	〃	※ 9 0 0 ～1, 0 0 0
	コンセント（一般）	〃	※ 3 0 0 ●
	〃（和室）	〃	※ 2 0 0 ●
	〃（台上）	台上 - 中心	※ 1 5 0 ●
	ブラケット（一般）	床上 - 中心	※ 2, 1 0 0 ●
	〃（踊場）	〃	※ 2, 5 0 0 ●
	〃（鏡上）	鏡端 - 中心	※ 1 5 0 ●
	〃（浴室）	床上 - 中心	※ 天井高×0. 9 ●
	非常照明器具用遮断器	-	※ 1, 2 0 0 ●
	避難口誘導灯	床上 - 下端	※ 1, 5 0 0 以上 ●
動 力	廊下通路誘導灯	床上 - 上端	※ 1, 0 0 0 以下 ●
	壁掛型制御盤	床上 - 中心	※ 1, 5 0 0 ●
電 話	手元開閉器	〃	※ 1,500（上端1,900以下）
	操作スイッチ・押ボタン	〃	※ 1, 3 0 0 ●
電 話	室内端子盤	床上 - 下端	※ 3 0 0 ●
	中間端子盤	床上 - 中心	※ 1, 5 0 0 ●
	保安器箱	〃	※ 天井高×0. 9 ●
	壁掛位置ボックス（一般）	床上 - 中心	※ 3 0 0 ●
時 計	〃（和室）	〃	※ 2 0 0 ●
	壁掛形観時計	床上 - 中心	※ 1,500（上端1,900以下）
拡 声	子時計	〃	※ 天井高×0. 9 ●
	壁掛形スピーカー	床上 - 中心	※ 天井高×0. 9 ●
表示・電 鈴	壁付音量調整器	〃	※ 1, 3 0 0 ●
	表示盤	床上 - 中心	※ 天井高×0. 9 ●
イン ター ホ ン	壁付発信器	〃	※ 1, 3 0 0 ●
	ブザー・ベル	〃	※ 天井高×0. 9 ●
	押ボタン（一般）	〃	※ 1, 3 0 0 ●
	〃（身障者用）	〃	※ 9 0 0 ～1, 0 0 0
テ レ ビ	壁付インターホン	床上 - 中心	※ 1, 3 0 0 ●
	身体障害者用	〃	※ 1, 0 0 0 ●
	壁付位置ボックス（一般）	〃	※ 3 0 0 ●
	〃（和室）	〃	※ 2 0 0 ●
火 災 報 知 器	機器収容箱	床上 - 中心	※ 1, 5 0 0 ●
	テレビアウトレット（一般）	〃	※ 3 0 0 ●
	〃（和室）	〃	※ 2 0 0 ●
ガ ス 警 報 器	受信機・副受信機	床上 - 操作部	※ 8 0 0 ～1, 5 0 0
	専用総合盤	床上 - 中心	●
	発信器	〃	●
	ベル	〃	● 2, 3 0 0 ●
ガ ス 警 報 器	消火栓・表示灯	〃	※ 2, 1 0 0
	試験器	〃	※ 1, 5 0 0
ガ ス 警 報 器	LPガス用	床上 - 上端	※ 3 0 0 以内
	都市ガス用	天井面 - 下端	※ 3 0 0 以内

			R6 年 5 月			工事名	6学工第4号 小出学校給食センター エアコン設置工事		
						図面名	電気設備 特記仕様書（2）		図面番号
						縮 尺	S=FREE		E-02



冷媒管リスト			
記号	名称	液管	ガス管
(A)	冷媒用被覆銅管	9.5φ	15.9φ
(B)	"	9.5φ	22.2φ
(C)	"	12.7φ	28.6φ
(D)	"	19.1φ	31.8φ

機械はつり補修リスト			
記号	区分	口径	コンクリート埋数量
(イ)	壁	75φ	200mm 1
(ロ)	壁	125φ	200mm 1

1 階平面図 S=1:200

- 注)
- 冷媒配管のサイズ記号は冷媒配管リスト表を参照とする。
 - ドレン配管は排水配管に準ずる保溫仕様とする。
 - 図中 表示部ははつり補修箇所を示す。(数量は機械はつり補修リスト参照のこと。)